

仕様書名	設置仕様書(設置編)
-------------	-------------------

製品名	自動精算機
機種名	Flexcom Pay

発行印

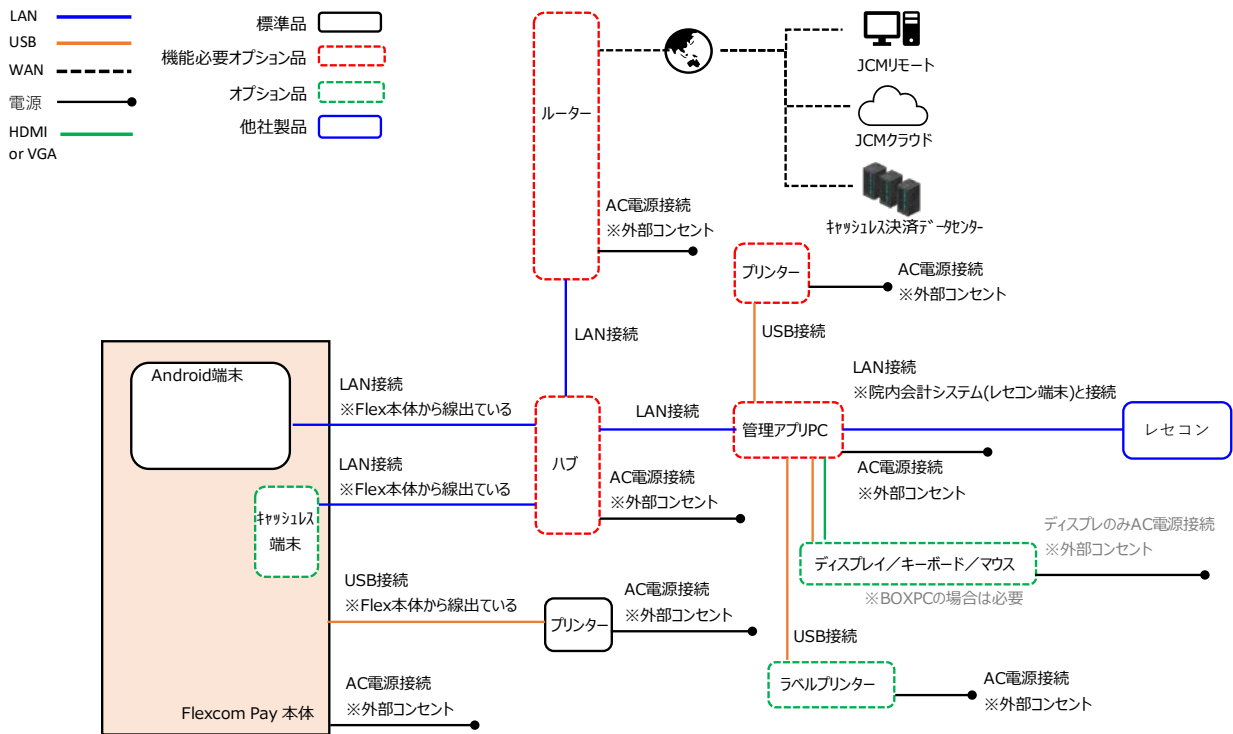
【9版】

目次

1. 概要	3
1.1. システム構成図	3
1.2. アドレス一覧	3
2. 設置条件	4
3. 使用工具	4
4. 梱包	4
5. 電源仕様	4
6. 設置・メンテナンススペース	5
6.1. 設置寸法（外形寸法）	5
6.2. 最大メンテナンススペース（扉開最大時）	5
7. 筐体設置	6
7.1. 上下筐体取付	6
7.2. アンカー固定	6
【同梱の固定用部品】.....	7
7.3. PC 設置	8
8. 配線	8
8.1. 配線例	8
9. オプション設置	10
9.1. オプションカート	10
9.2. 卓上設置	13
9.3. サイドテーブル	17
10. シッピングネジ/テープ	26
10.1. シッピングネジ/テープの取り外し	26
11. 推奨スペック	27

1. 概要

1.1. システム構成図



1.2. アドレス一覧

機器	IP アドレス	最大接続台数
管理アプリ PC	yyy.xxx.zzz.100 (現地のセグメントに合わせる) ※ネットワークをクリニックの環境に合わせて設定する場合、ネットワーク部のアドレスは事前確認資料に沿って設定してください。	-
自動精算機	yyy.xxx.zzz.11~ yyy.xxx.zzz.12 (現地のセグメントに合わせる) ※ネットワークをクリニックの環境に合わせて設定する場合、ネットワーク部のアドレスは事前確認資料に沿って設定してください。	2 台

※設定内容は、Flexcom Pay 設置仕様書(設定編)を参照ください。

2. 設置条件

設置する際は、下記の条件を必ず守り設置してください。

- ① 装置は、屋内設置とします。
- ② 装置は、床面水平設置とし、底面または背面をアンカーで固定することとします。
- ③ 輸送時は装置が倒れないようにゆっくりと押しながら運んでください。
- ④ 運搬の際は硬貨受け皿、電子決済端末等、突起物を持たないでください。

3. 使用工具

- ・プラスドライバー
- ・スタビードライバー
- ・その他：電動ドライバー、アンカー用電動ドリル、アンカー用ハンマー

4. 梱包

梱包については、別紙「梱包仕様」を参照ください。

5. 電源仕様

定格電圧 : AC 100V ± 1.0% 3線式 ※接地極付きコンセントに接続してください。

定格周波数 : 50/60Hz 共用

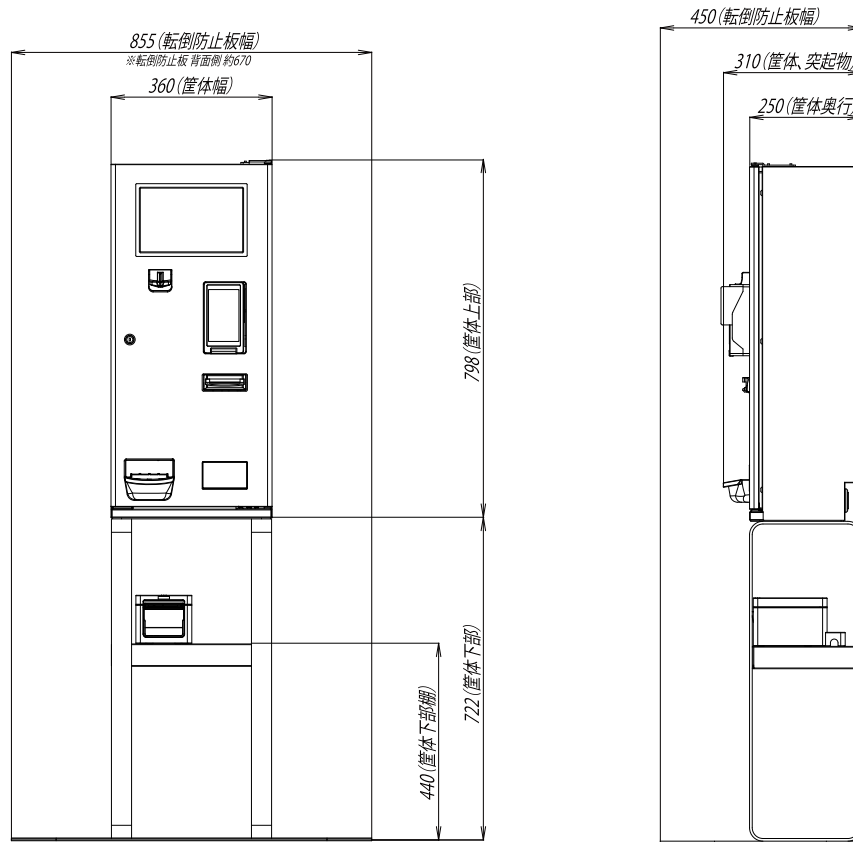
定格電力 : 53W (動作時)

注) 本資料に使用されている寸法値について、公差は下記の表を参照ください。

基準寸法 (単位 : mm)	許容差 (単位 : mm)
6 以下	±0.5
6 を超え 30 以下	±1.0
30 を超え 120 以下	±1.5
120 を超え 400 以下	±2.5
400 を超え 1000 以下	±4.0
1000 を超え 2000 以下	±6.0

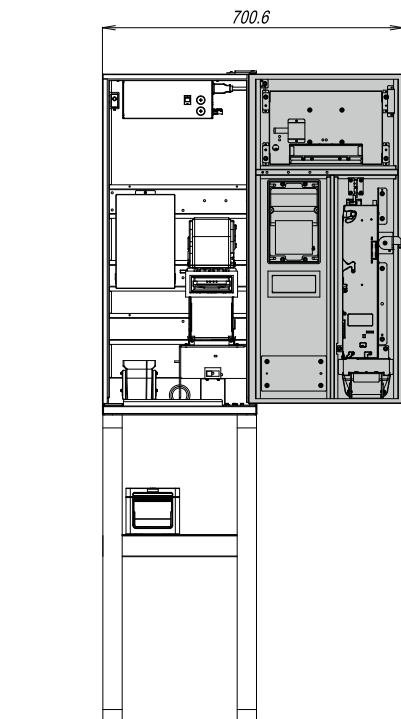
6. 設置・メンテナンススペース

6.1. 設置寸法（外形寸法）

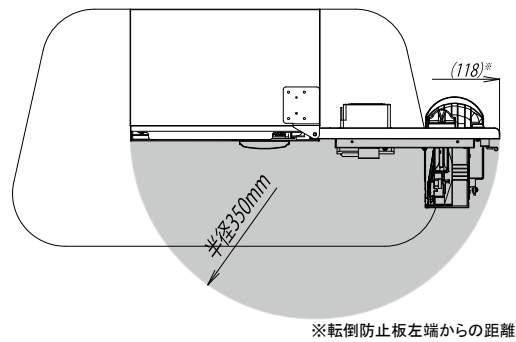


6.2. 最大メンテナンススペース（扉開最大時）

扉開最大時（正面）



扉開最大時（平面）



※転倒防止板左端からの距離

グレーで示した箇所は扉開閉時の軌道に当たるため
十分な安全を考慮した上で
メンテナンススペースを確保してください

メンテナンススペースが確保されていないと
メンテナンス作業ができないため
必ず確保できる箇所に設置してください。

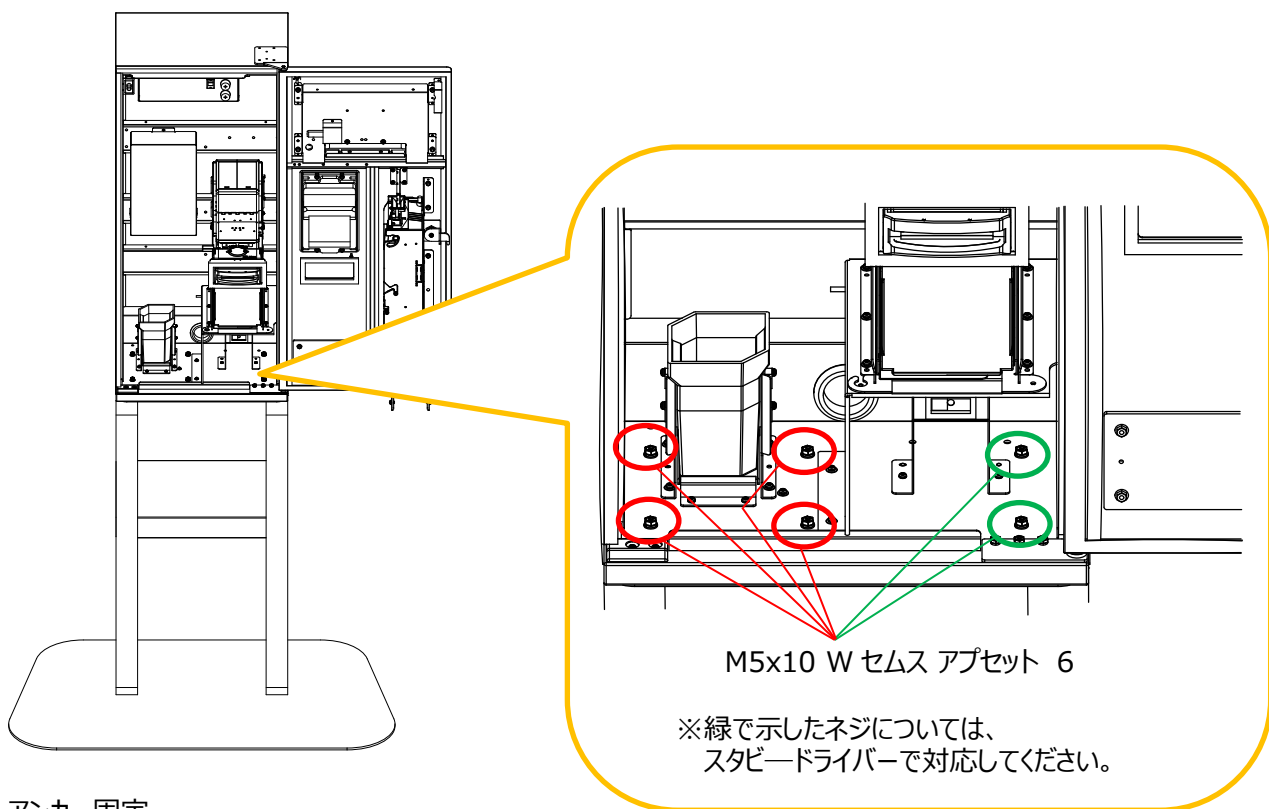
7. 筐体設置

7.1. 上下筐体取付

筐体は上下別々に梱包されています。

各筐体を梱包材から取り出し、下筐体の上に上筐体を載せ、指定のネジで取り付けます

指定ネジ：M5x10 W セムス アプセット (6本)



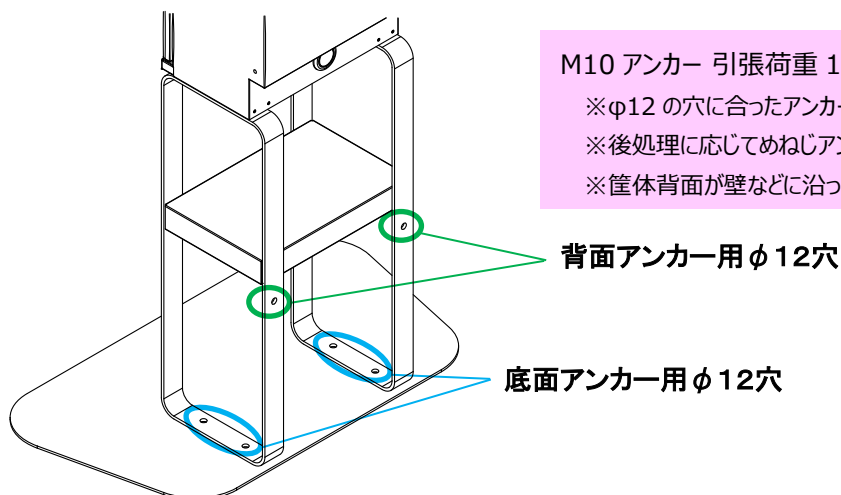
7.2. アンカー固定

下筐体には底面に4か所、背面に2か所のアンカー用の穴があります。

※固定については底面固定を推奨します。

※アンカーの種類については事前に固定場所材質と一緒に確認してください。

※設置後は必ずガタツキを含め、設置状態に問題がないことを確認してください。



M10 アンカー 引張荷重 10 kN 以上推奨

※φ12の穴に合ったアンカーを2本以上使用してください

※後処理に応じてめねじアンカー等考慮ください

※筐体背面が壁などに沿っていることを推奨します。

【同梱の固定用部品】

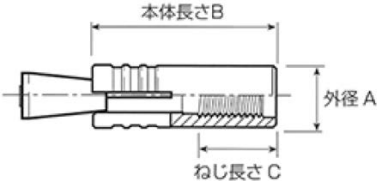
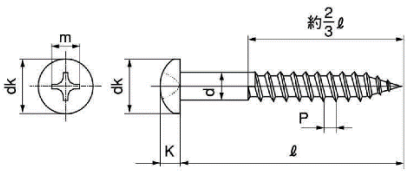
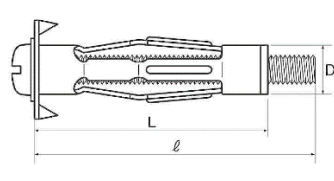
固定用部品は以下の3種類を同梱しています。

詳細：めねじアンカー2本(対応ボルト・ワッシャー：六角ボルトM10X25・M10 バネ座金・M10 平ワッシャー)、
木ネジ4本(対応ワッシャー：M8 平ワッシャー、M8 スプリングワッシャー)、ボードファスナー2本

※引抜強度は施工する材料・施工条件等により変動するため、メーカーから荷重は保証されていません。

※固定部品の使用や取付けを行う場合は破損等によるリスクについて十分な説明と了承を得た上で検討してください。

※上記の理由により、同梱の固定用部品についてはJCMの推奨ということではありません。

名称	めねじアンカー JA-M10	木ネジ ※ 丸木ネジ	ボードファスナー B-814P
固定	底面・背面	背面・卓上	背面
受材	コンクリート	木材	石膏ボード(12.5 mm)、コンパネ
外形			
仕様 (mm)	A : φ14/B : 40/C : 14 基準ドリル系径 : φ14.5 基準深さ : 43	背面 : M8x45 4本 ※有効打込み長さ 38 以上	D : 10.5/L : 53/ ℓ : 60 穿孔径φ13 適応板厚 : 7~16
頭部	打込み式	M8 ネジ式	M8 ボルト式
備考	打込み棒 : HB-10	ネジの先端が取付側の木材から 飛び出さないこと	穿孔径準備時の石膏ボード破損 に注意すること インパクトドライバーは使用不可、 手締めでの施工推奨

【木ネジの使用について】

堅い木材：木ねじ径の約80%、深さは締付け長さ程度を標準とする。

軟い木材：木ねじ径の約30%、深さは締付け長さの1/3程度を標準とする。

※下穴は穴の中心に垂直となるよう注意が必要です。

※木材は天然木を推奨および想定しています。ただし木材によって調節が必要です。

【オプションの設置】

「9. オプション設置」を参照してください。

7.3. PC 設置

推奨品での設置内容を記載しています。

クリニック様が用意されている場合には、精算機との接続や、アプリケーションのセットアップのみ実施してください。

8. 配線

8.1. 配線例

筐体背面穴から出てくるハーネスについては、左右または下側に引き出して上下任意の方向で配線してください。

<背面穴からのハーネス長>

AC ケーブル : 約 3m

LAN ケーブル(ピンク) : 約 6m

LAN ケーブル(水色) : 約 6m ※電子決済端末無し仕様の場合はありません

プリンタ用 USB ケーブル : 約 1m

<LAN ケーブルの延長>

LAN ケーブルを延長する際は、CAT5e 以上をご使用ください。

<同梱配線クランプ類>

結束バンド : 10 本

マウントベース : 2 個

◆ケーブルカバーについて◆

壁や天井、床に配線する際は、ケーブルカバーなどを使用して安全な配線を行ってください。

ケーブルカバー
参考例





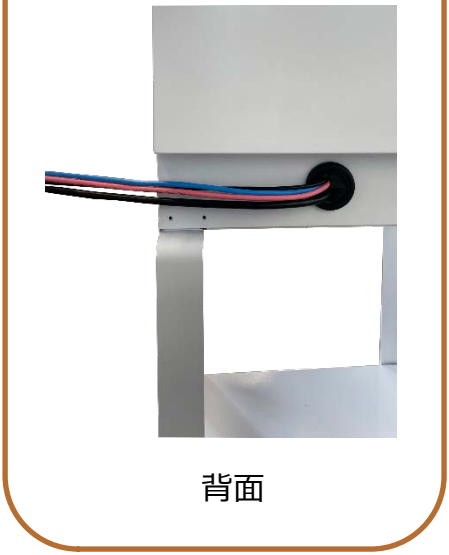
引き出し例：左中央



引き出し例：右中央



引き出し例：下



背面



結束バンド等で線をまとめておく

<プリンターの AC アダプタの配置例>



AC アダプター

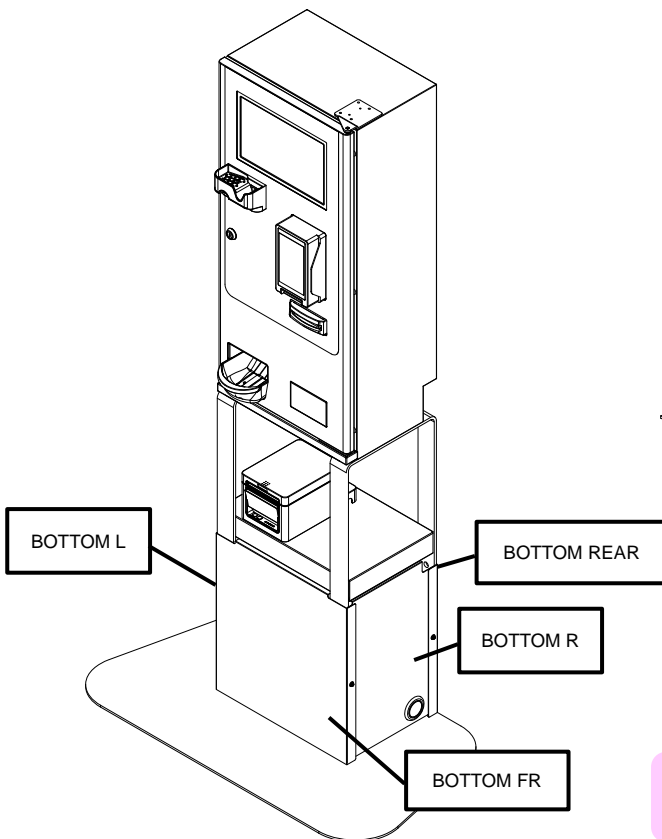
マウントベースで、壁や転倒防止版に固定しておく

9. オプション設置

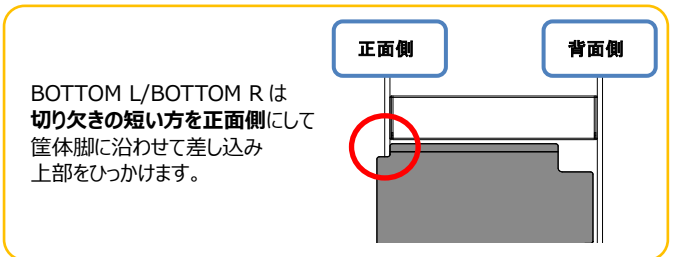
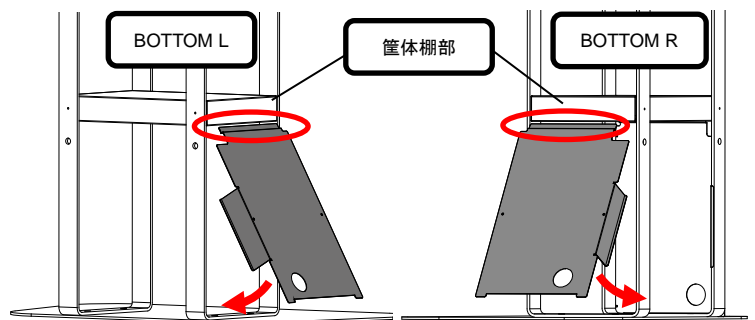
9.1. オプションスカート

設置台オプションスカートは筐体下部の引っ掛け防止の目的として取付けます。
取り付ける際は、以下の形で取り付けてください。

用意するもの： オプションスカート (BOTTOM FR、BOTTOM REAR、BOTTOM L、BOTTOM R)
 グロメット 2個 ※スカート内部に同梱
 M4x8 W セムス 4本

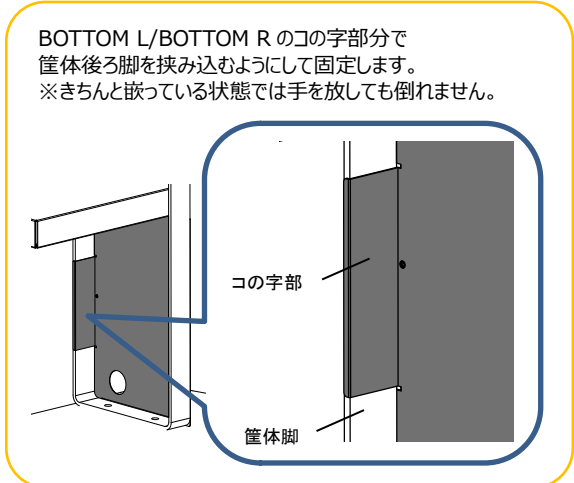
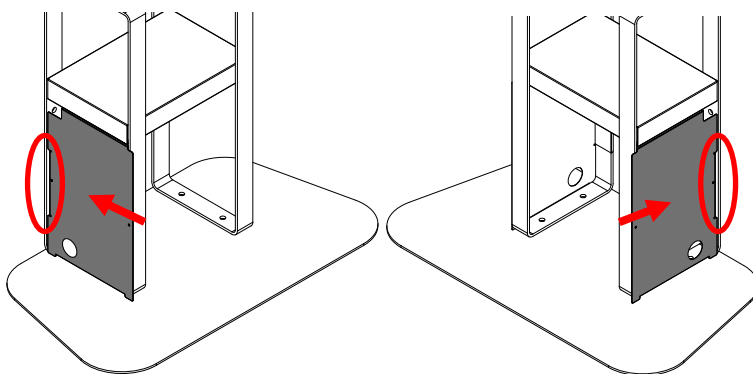


1. BOTTOM LとBOTTOM Rを左右の側面から筐体棚部に上部をひっかけて配置します。

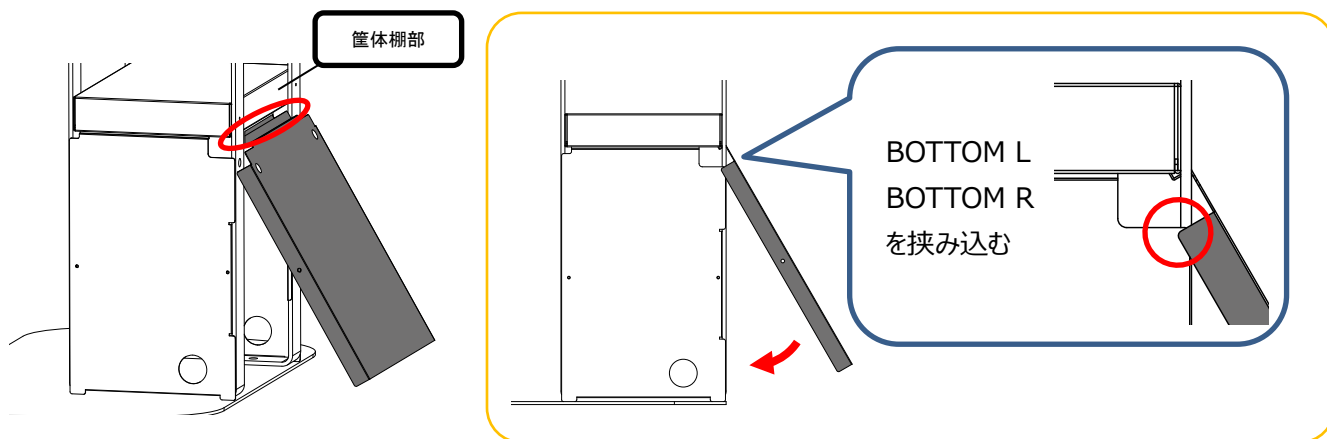


配置する時は上側を軸にして回転させ、床を傷つけないように注意してください。

2. BOTTOM L/BOTTOM Rを背面側にスライドさせ、筐体後ろ脚に嵌めて固定します。

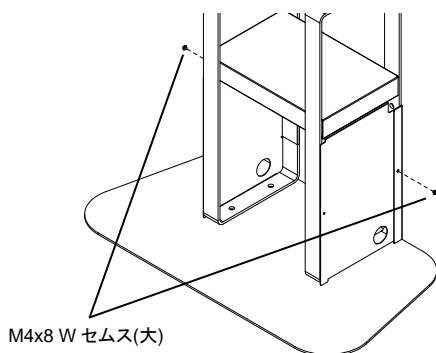


3. BOTTOM REAR を背面側から筐体棚部に引っ掛け、BOTTOM L/BOTTOM R を挟み込んで配置します。

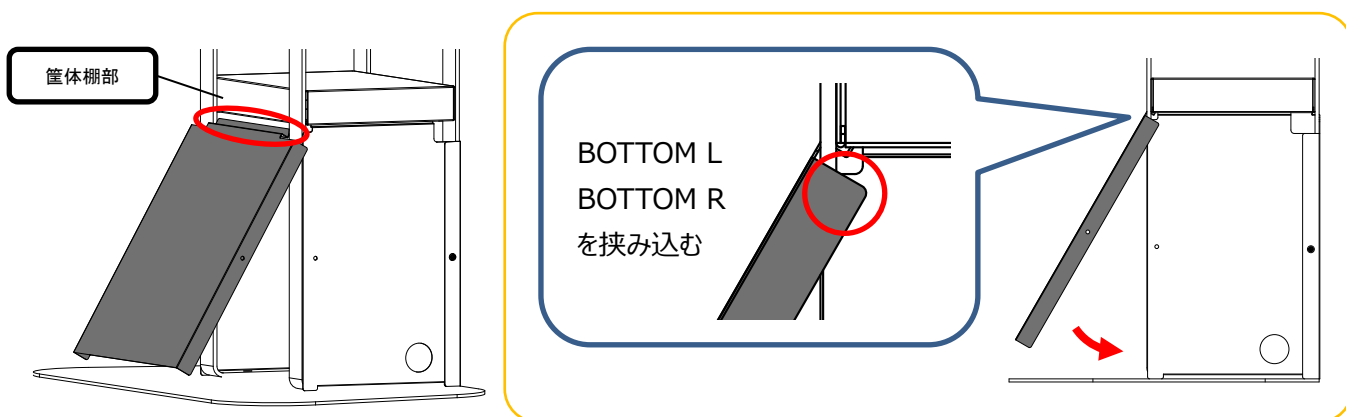


配置する時は上側を軸にして回転させ、床を傷つけないように注意してください。

4. BOTTOM REAR を M4x8 W セムス(大) で左右各 1 箇所固定します。

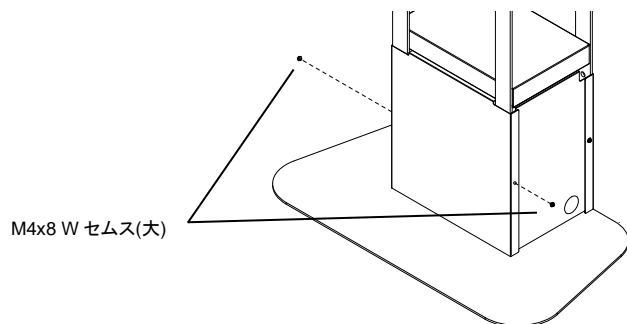


5. BOTTOM FR を正面側から筐体棚部に引っ掛け、BOTTOM L/BOTTOM R を挟み込んで配置します。

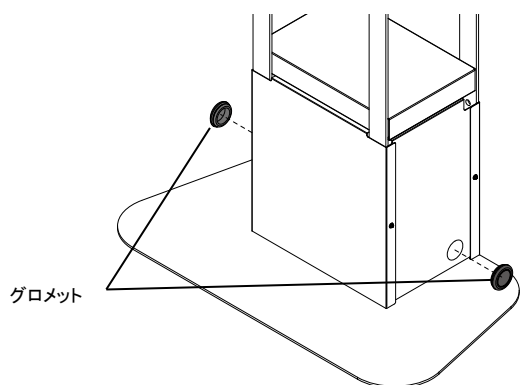


配置する時は上側を軸にして回転させ、床を傷つけないように注意してください。

6. BOTTOM FRを M4x8 W セムス(大)で左右各 1箇所固定します。



7. 左右のケーブルを通す穴にグロメットを装着します。



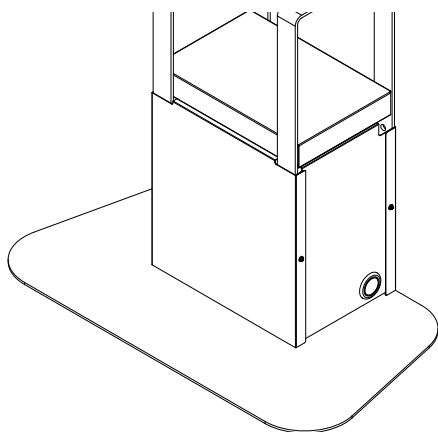
ケーブルを通す方のグロメットは中央部分に切込みを入れてケーブルを通せるようにしてください。

※切込みする部分は薄くなっているのでハサミやカッターで簡単にカットできます。

グロメットの取り付けは、左右の穴に押し込めグロメットの溝部分で板金に固定します。



8. 以上でオプションスクートの取り付けは完了です。



9.2. 卓上設置

安震アイバでの卓上設置

※卓上設置用板金は筐体についています。

- 用意するもの： 安震アイバ : 
※安震アイバの使用期限は未開封で 6 か月、開封後は 3 週間です
- 安震 V3 : 
※破損や高減衰ゴムの飛び出しがあるまで流水/乾燥で再使用できます
- シーリングテープ：タキゲン C300-EG-10-10
- マスキングテープ：3 M No.243J Plus 幅 30mm
(一般的な塗装用マスキングテープで代用可)
- その他 : ヘラ、スクレーパー、コーキングガン、アルコール

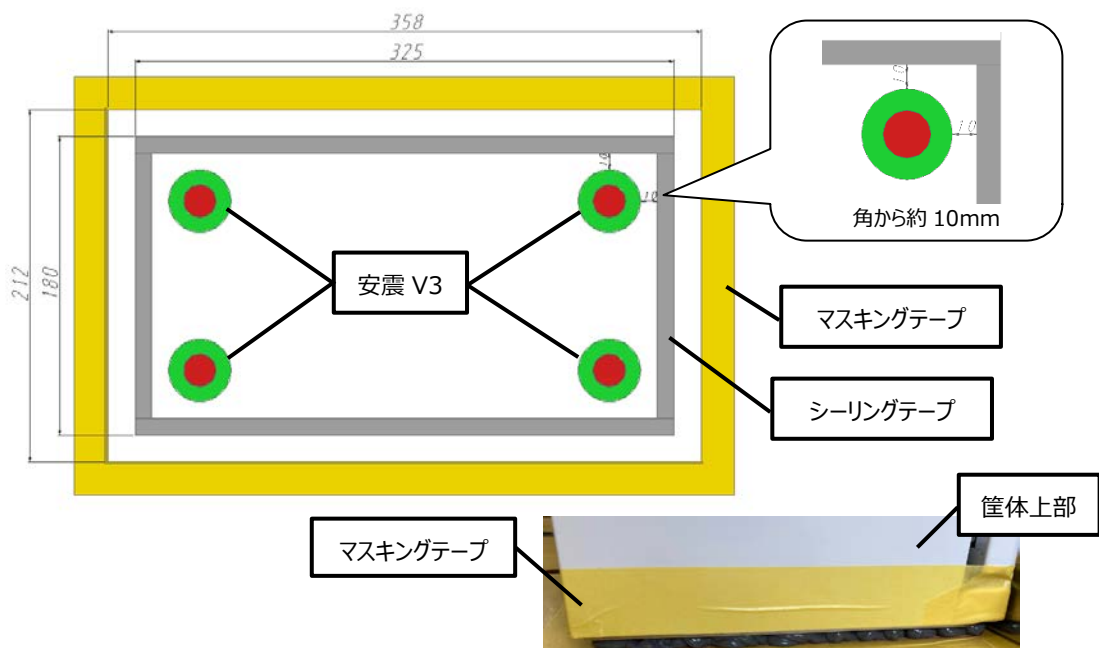
施工手順

1. 筐体底面と設置テーブル面をアルコールなどで脱脂する。
(テーブルの素材がアルコールなどで劣化しない事を事前に確認してください)

ゴム、アクリル、および塗装の強度が弱い面には、アルコールなどによる
施工前脱脂が十分にできないため、安震アイバの施工は不向きです。

2. 床と Flex 本体に安震アイバ (コーキング材) が付かないようにマスキングテープを貼る。
3. 安震アイバの必要注入量がわかるように、シーリングテープを貼りつける。(シーリングに当たるのが目安)
4. 安震 V3 (免振ゴム) を 4 ヶ貼り付ける。

安震 V3 は冷暗所で空気に触れないようジップロックなどで保管してください。

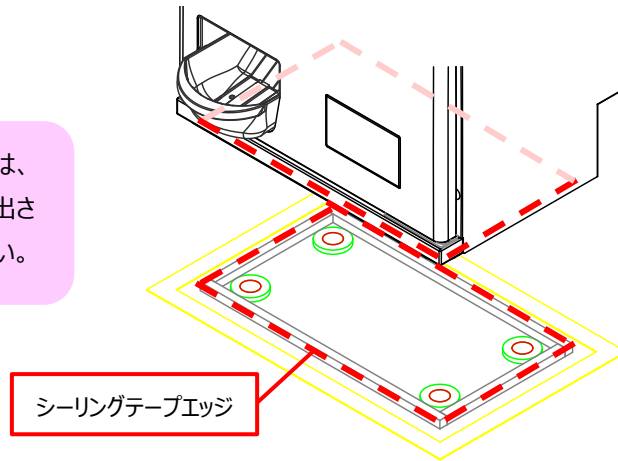


※マスキングテープとシーリングテープの長さは上図を参考にしてください。

壁付け設置の場合は壁側のスペースに安震アイバをあらかじめ注入しておいてください。

5. Flexcom Pay 筐体上部を設置する。

筐体上部を配置する時は、シーリングテープからはみ出さないように注意してください。



6. Flex と接地面の間（4 辺全て）に安震アイバを注入する。
（ホームセンターで購入可能なコーキングガンを使用）

注入した後は表面がでこぼこになっているためヘラで平らにしてください。



7. マスキングテープを剥がす。



マスキングテープは施工後すぐに剥がしてください。その際、安震アイバが床や筐体上部に着かないように注意してください。万が一、マスキングされていない箇所に安震アイバが付着した場合は、すぐにふき取ることで簡単に除去できます。

8. 48 時間放置し、安震アイバが完全硬化するのを待つ。

硬化するまでの 48 時間は動かしたり、扉を開閉したりしないでください。

移設/撤去

安震アイバで固定した Flexcom Pay を移設または撤去する場合は
カッターで安震アイバに切込みを入れ、固定箇所から分離させます。

※ 切込みは 3 辺以上の辺全体に入れてください。

※ 1 度の切込みで分離できない場合は、分離できるまで繰り返して切込みを深くしてください。

固定箇所に残った安震アイバは、スクレーパーで取り除き、アルコールまたはアセトンで拭きとります。



固定箇所に残った安震アイバ（木材）



スクレーパー + アルコール清掃後



安震アイバ除去跡（コンクリート）



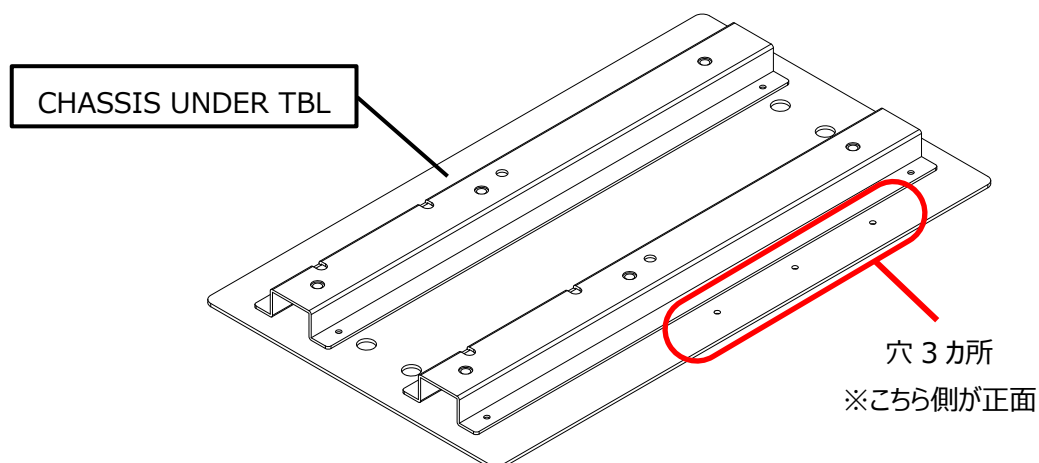
アセトン清掃後

上記は木材およびコンクリートでの固定を行った場合の一例です。
固定箇所の材質や経年によって清掃後の状態は異なります。

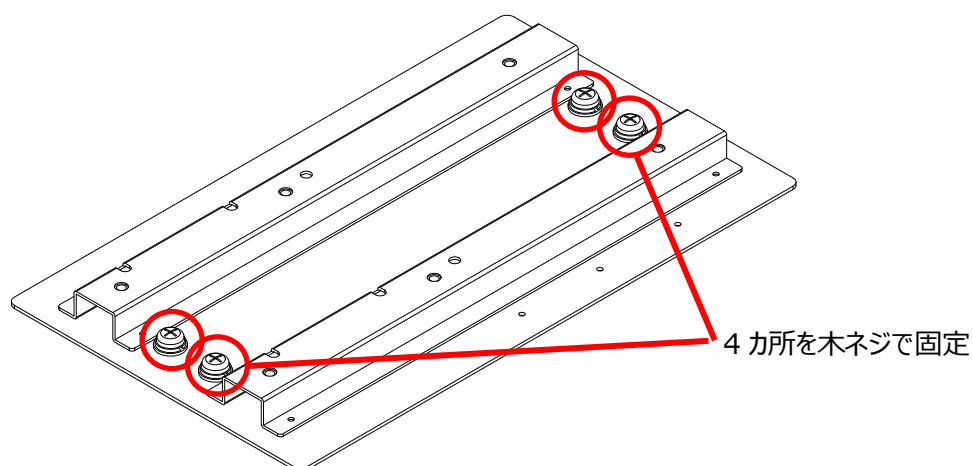
ネジ（アンカー）固定での卓上設置

用意するもの： 卓上設置用板金（塗装あり：2071AS1402）
M8 木ネジ、M8 ワッシャー、M8 スプリングワッシャー各 4 個
M5x10 W セムス アプセット 6 本

1. 筐体底面（CHASSIS UNDER TBL）を設置個所に配置します。
※穴が 3 カ所空いている方を正面として設置するよう配置してください。



2. 木ネジをワッシャー、スプリングワッシャーと一緒に 4 カ所固定します。
※「固定ネジおよびアンカーについては【同梱の固定用部品】を参照ください」



3. 筐体上部を載せ、指定ネジ（M5x10 W セムス アプセット（6 本））で取り付けます。
※「7.1 上下筐体取付」を参照ください。
※アンカー使用の場合など、固定の種類については事前に固定場所材質と一緒に確認してください。
※設置後は必ずガタツキを含め、設置状態に問題がないことを確認してください。

9.3. サイドテーブル

サイドテーブルを取り付ける際は、以下の形で取り付けてください。

※Flexcom Pay 本体を架台に固定している場合は、取り外してから作業を行ってください。

用意するもの： サイドテーブル一式

SIDE TABLE WOOD、SIDE TABLE Spacer

SIDE TABLE BKT1、SIDE TABLE BKT2

SIDE TABLE PRINTER BKT、L 型金具 2 個

皿ネジ M3x16/M3x8 各 2 本

W セムス大径 M4x10 4 本

フランジナット M4 4 個

C 型皿ボルト ST3.5x16 2 本、ST3.5x25 2 本

(L 型金具付属：ST3.5x16 3 本、ST3.5x25 1 本 / 個)

ナベ C タッピンネジ ST3.5x10 2 本

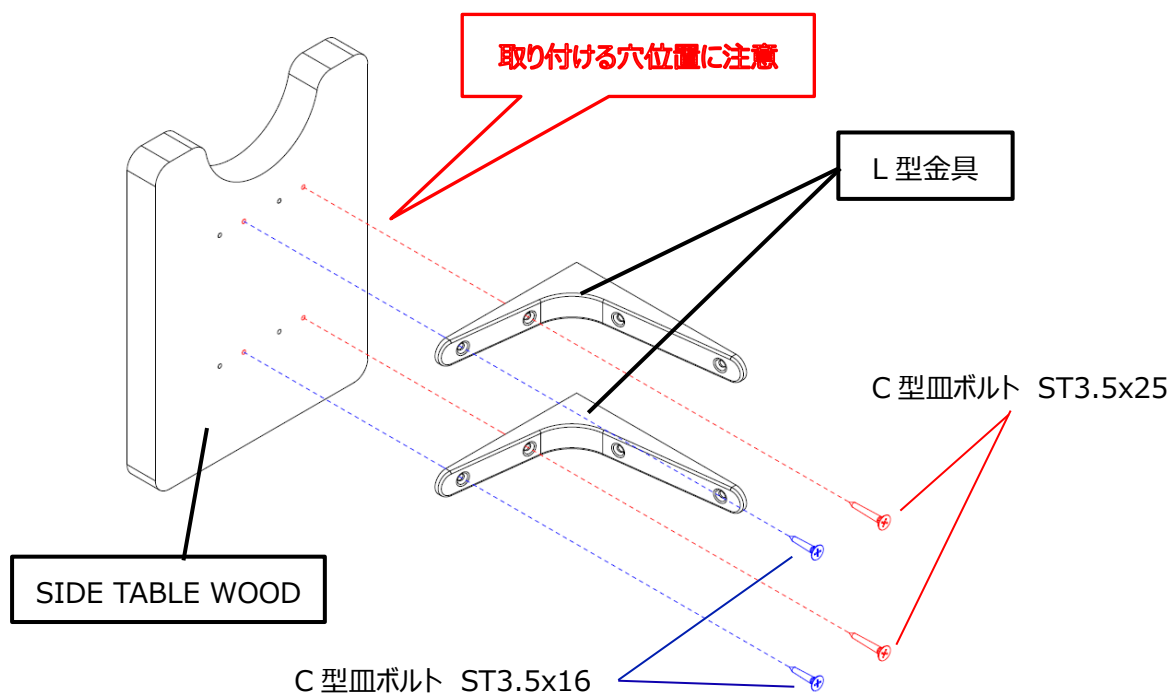
取付手順

1. SIDE TABLE WOOD の下側に L 型金具を固定します。

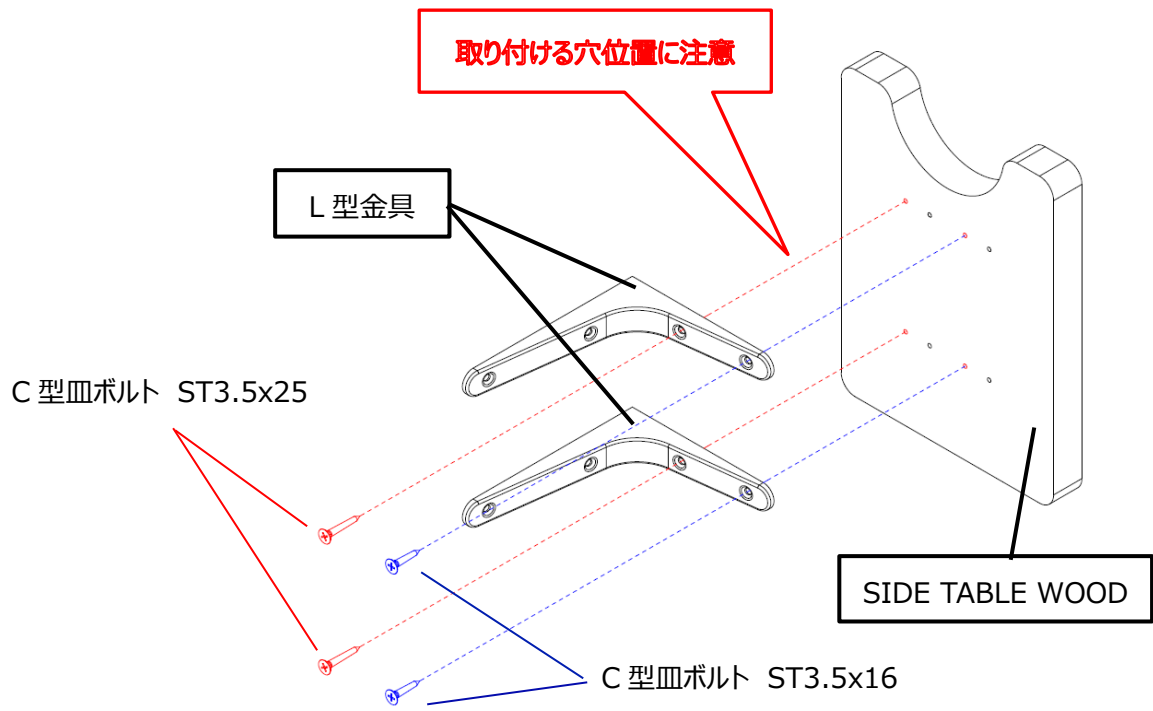
L 型金具の短い方を SIDE TABLE WOOD と固定します。余り 4 本の ST3.5x16 は使用しません。

サイドテーブル設置位置(筐体右側・左側)により、L 型金具の取付方向・位置が異なるのでご注意願います。

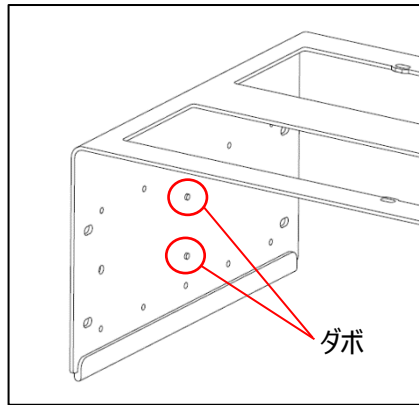
(左側設置の場合)



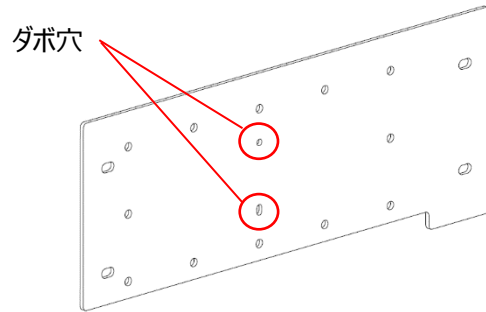
(右側設置の場合)



2. SIDE TABLE BKT1 に SIDE TABLE BKT2 を取り付け、固定します。
 SIDE TABLE BKT1 のダボに SIDE TABLE BKT2 のダボ穴をはめ込む事で位置が決まります。
 サイドテーブル設置位置(筐体右側・左側)により、SIDE TABLE BKT2 を取り付ける向きが異なるのでご
 注意願います。

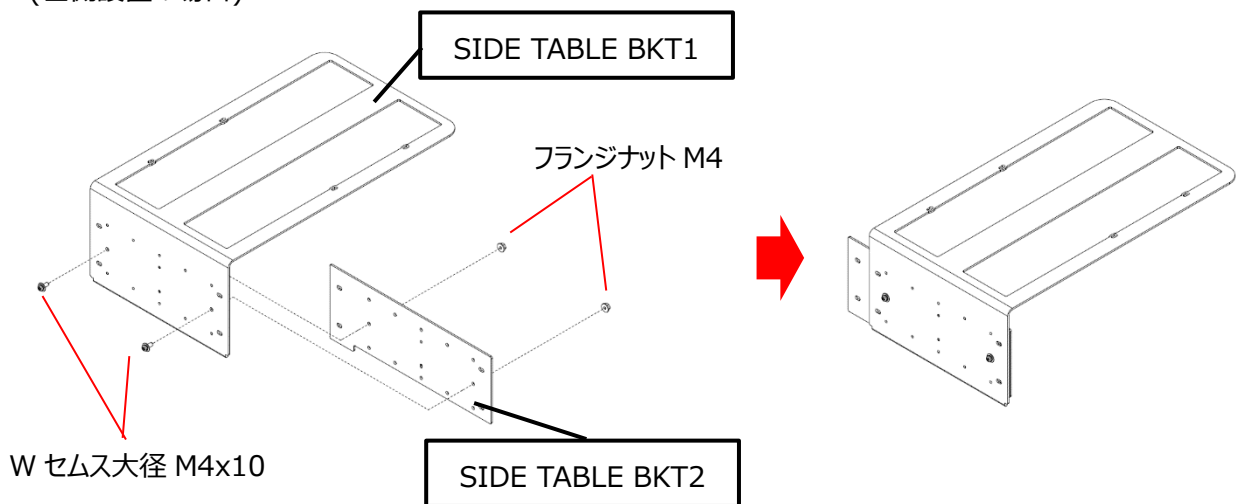


SIDE TABLE BKT1

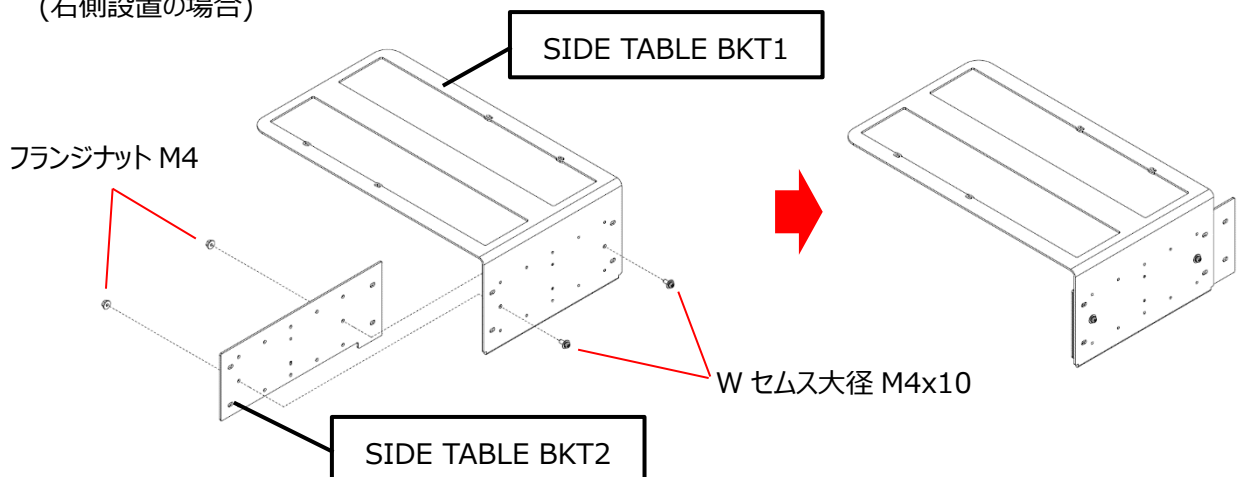


SIDE TABLE BKT2

(左側設置の場合)



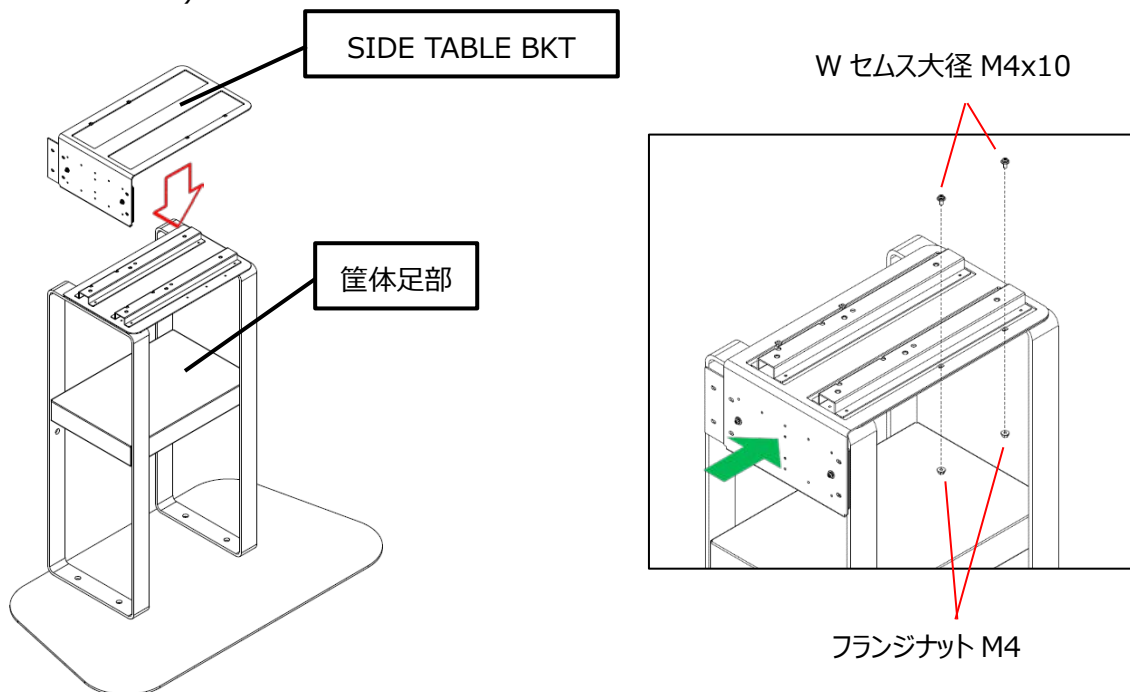
(右側設置の場合)



3. 筐体足部に SIDE TABLE BKT を取り付け、固定します。

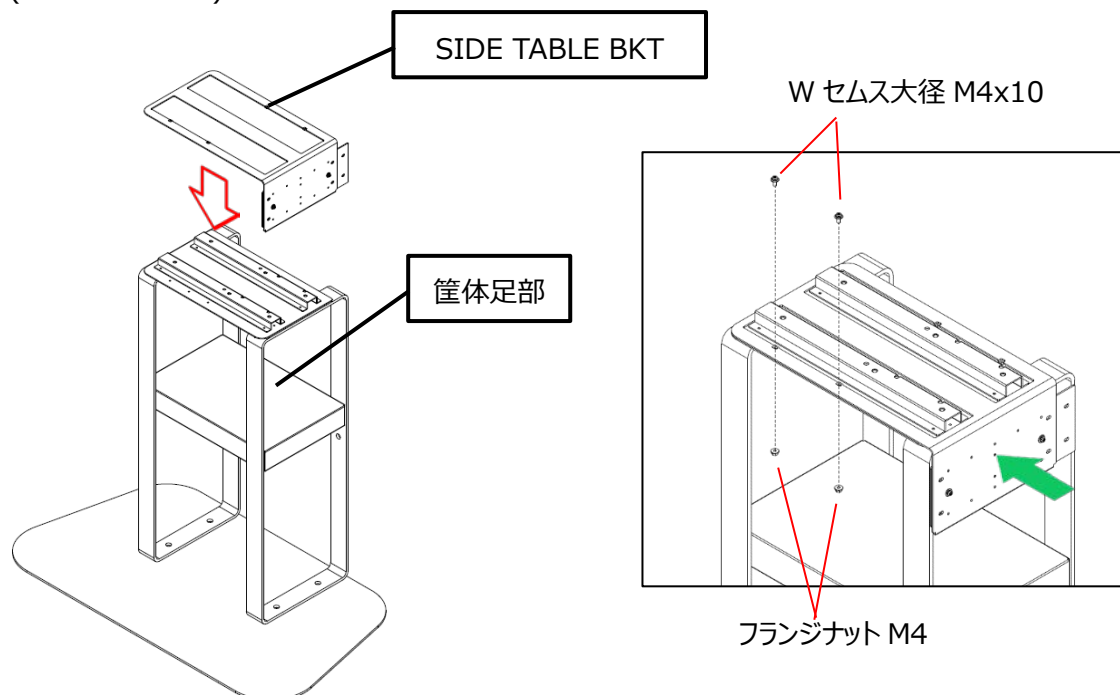
サイドテーブル設置位置(筐体右側・左側)により、SIDE TABLE BKT を取り付ける向きが異なるのでご注意ください。

(左側設置の場合)



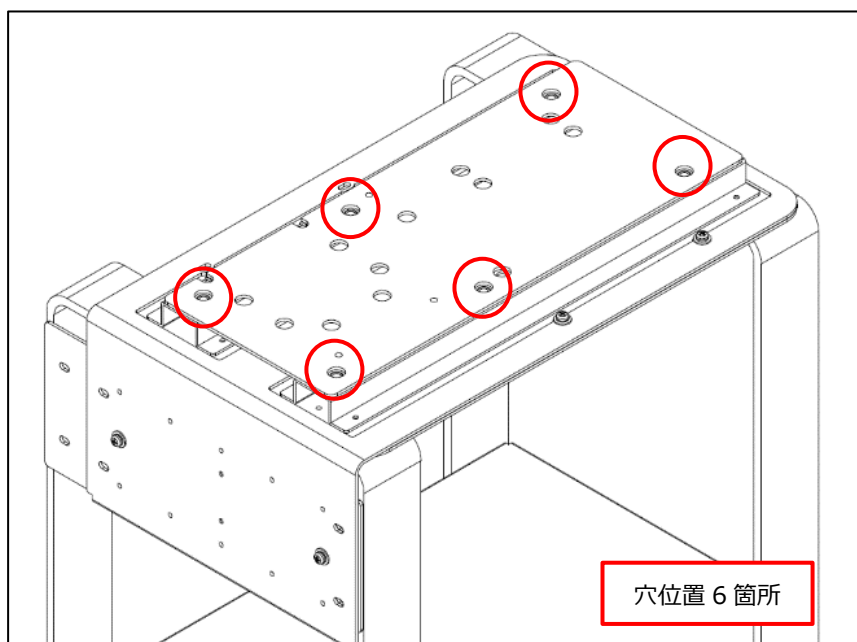
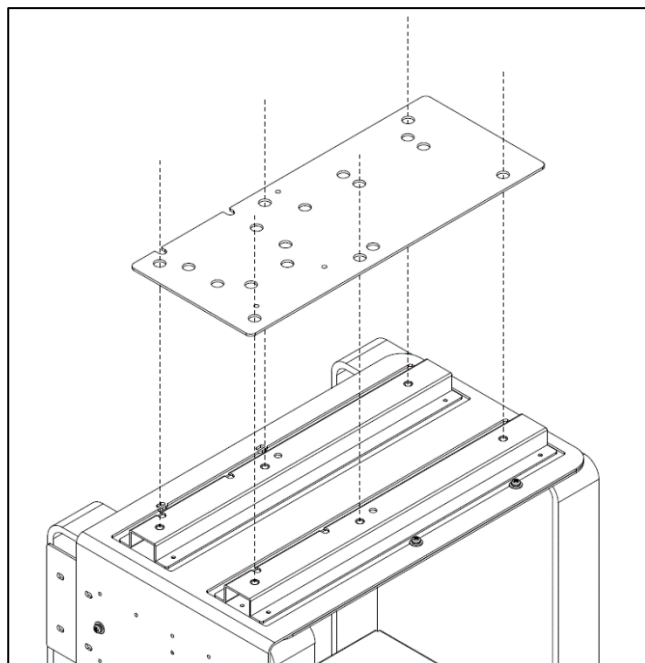
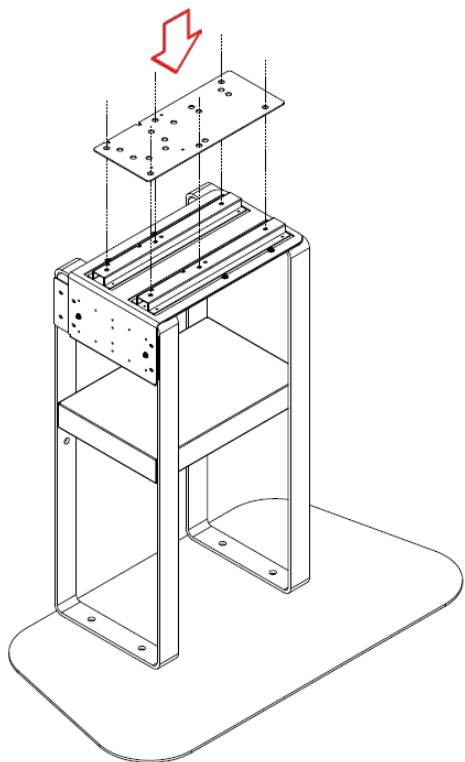
SIDE TABLE BKT を緑矢印方向に押し当て、筐体足部との隙間がない状態で固定します。

(右側設置の場合)



SIDE TABLE BKT を緑矢印方向に押し当て、筐体足部との隙間がない状態で固定します。

4. SIDE TABLE Spacer を筐体足部の穴位置(6箇所)とあうように配置します。
サイドテーブル設置位置(筐体右側・左側)によって取り付ける向きは変わりません。



SIDE TABLE Spacer が浮いたり、穴位置がずれていないことを確認してください。

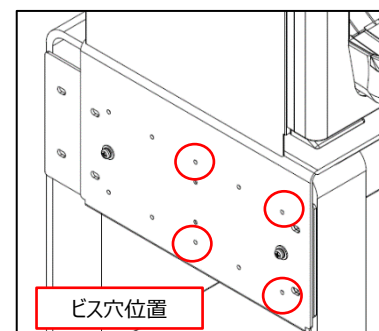
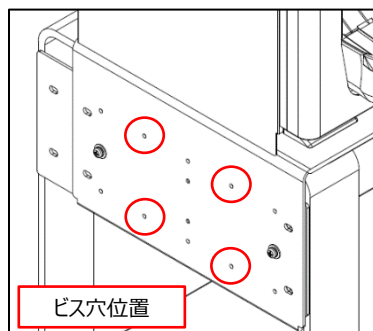
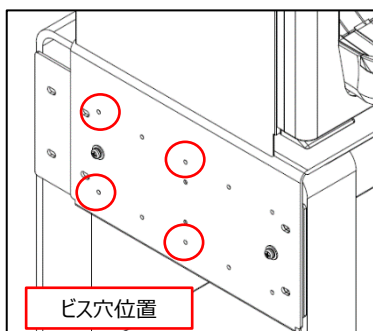
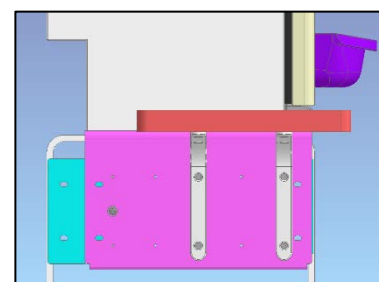
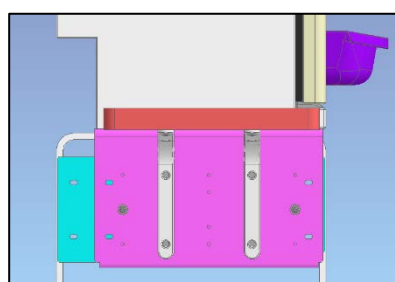
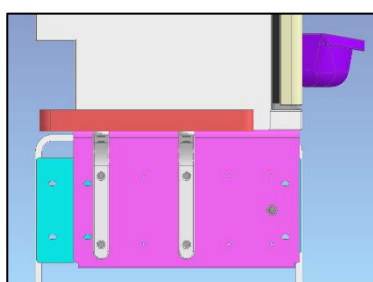
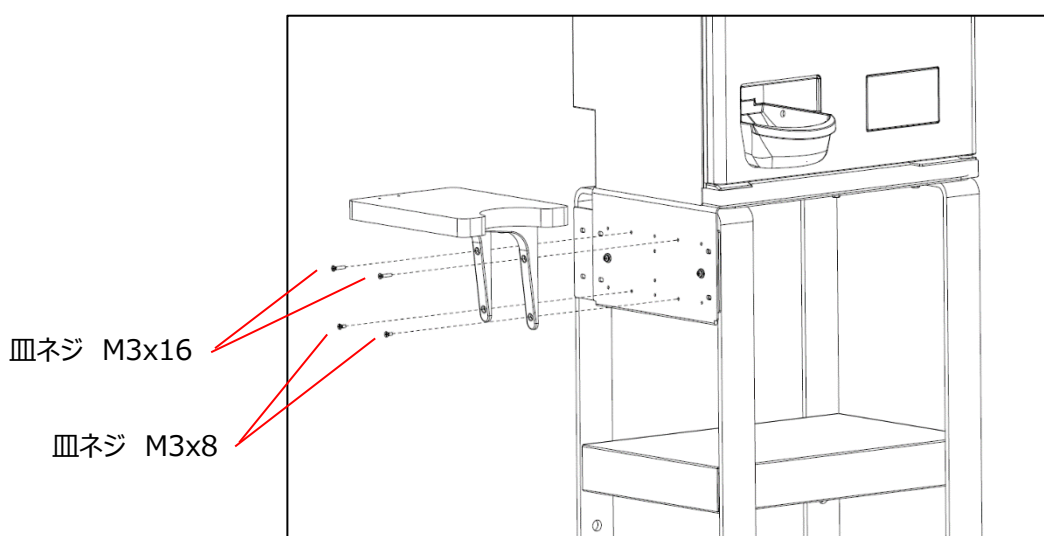
5. 筐体を設置し、筐体足部と連結します。
連結方法については「7. 筐体-7.1 上下筐体取付」をご参照願います。
6. 筐体に取り付けた SIDE TABLE BKT に SIDE TABLE WOOD の L 型金具を固定します。
サイドテーブル設置位置(筐体右側・左側)により、取付位置が異なるのでご注意願います。

(左側設置の場合)

SIDE TABLE WOOD の取付位置は 3 段階調整が可能です。

現場の設置状況により、取付位置を調節してください。取付位置を調節する必要がない場合はセンター位置での取付を推奨します。

※筐体正面側をフロント、中心をセンター、背面側をリアとします。



リア位置取付

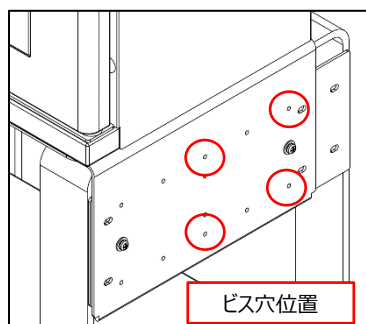
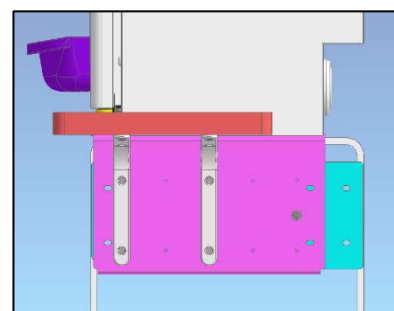
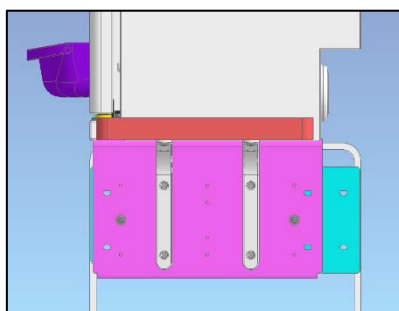
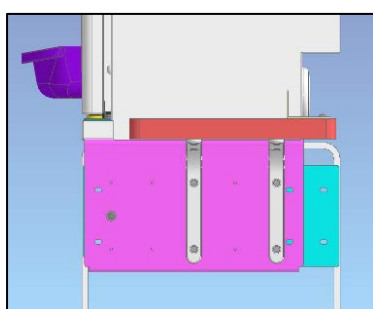
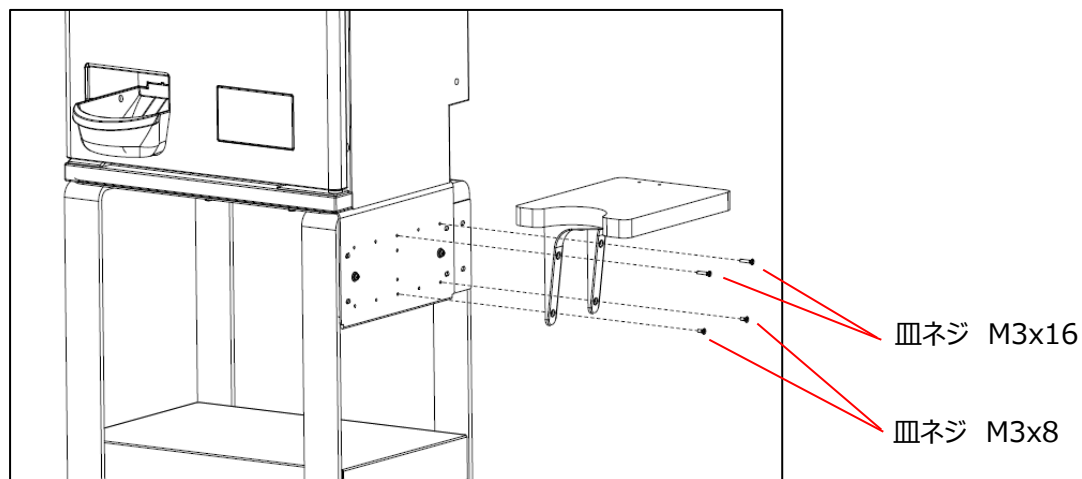
センター位置取付

フロント位置取付

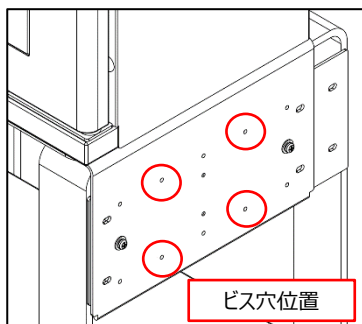
(右側設置の場合)

左側設置の場合と同様に SIDE TABLE WOOD の取付位置は 3 段階調整が可能です。
現場の設置状況により、取付位置を調節してください。取付位置を調節する必要がない場合は
センター位置での取付を推奨します。

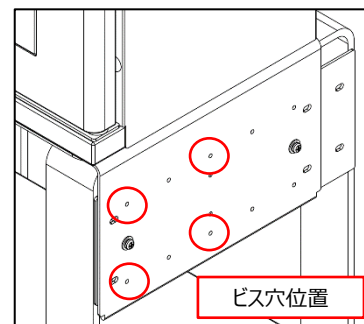
ただしプリンターをサイドテーブルに設置する場合、SIDE TABLE WOOD の取付位置は、リア位置のみしか対応
できませんのでご注意ください。



リア位置取付

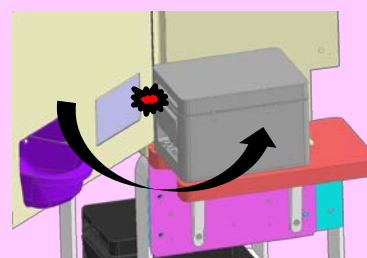


センター位置取付



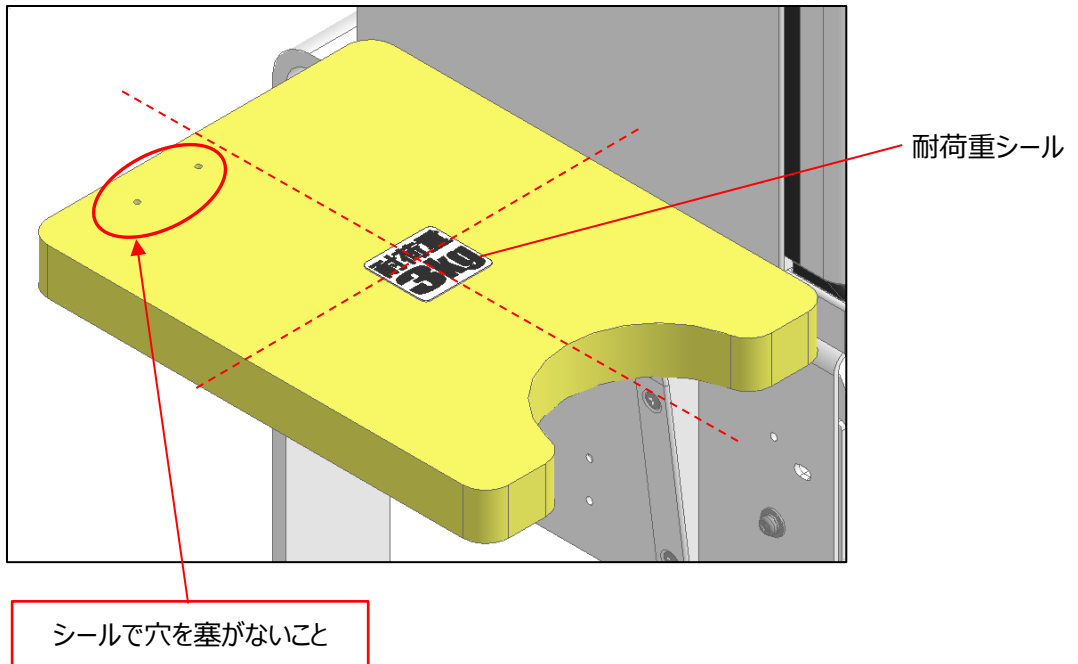
フロント位置取付

サイドテーブルにプリンターを配置する場合、フロントまたはセンター位置で取り付けを行うと、筐体扉がプリンターと干渉して破損の原因となります。
プリンター配置時は、テーブルが筐体より奥になるリア位置で取り付けてください。



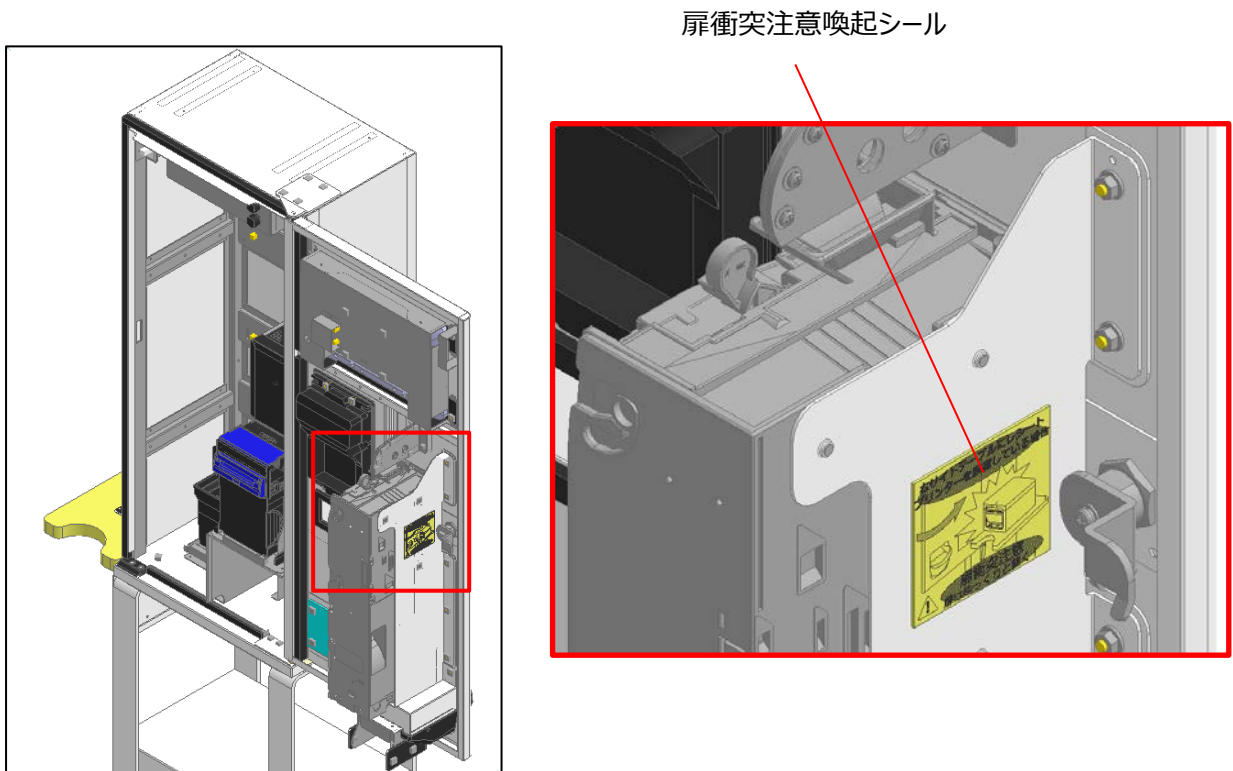
7. SIDE TABLE WOOD に耐荷重シール貼付けを貼り付けます。

貼付け位置は中央位置を推奨します。中央以外の位置に貼る場合は穴を塞がないようご注意ください。



8. 筐体扉内側に扉衝突注意喚起シールを貼り付けます。

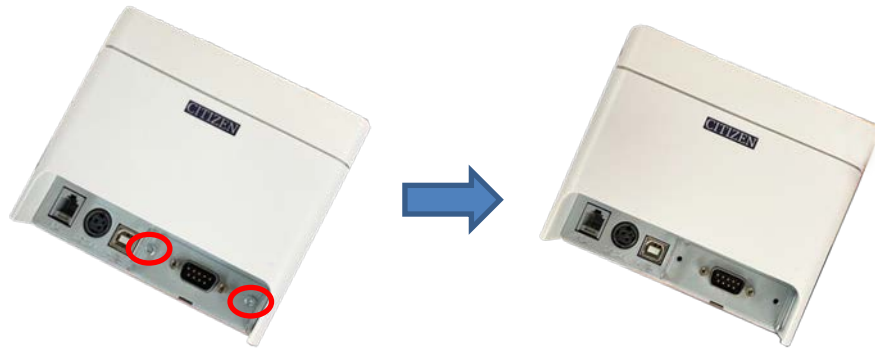
貼付け位置は下図をご参照願います。



◆サイドテーブルにプリンターを設置する場合

サイドテーブルにプリンターを設置する場合は手順 8 の後に以下の手順を追加してください。

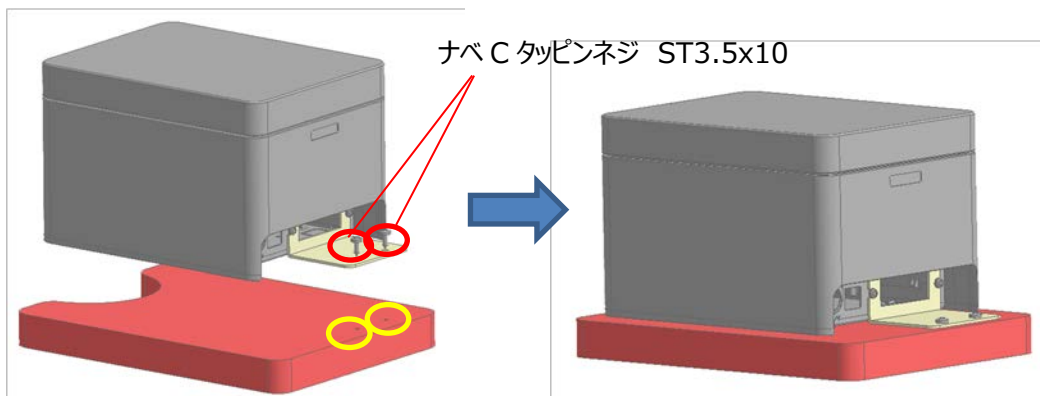
A. プリンターの背面にあるコネクタ用のブラケットのネジ 2 本を外します。



B. SIDE TABLE PRINTER BKT のネジ穴を外したネジ穴に合わせて共に締めします。



C. SIDE TABLE WOOD のブラケット用の穴に合わせてネジ 2 本で固定します。



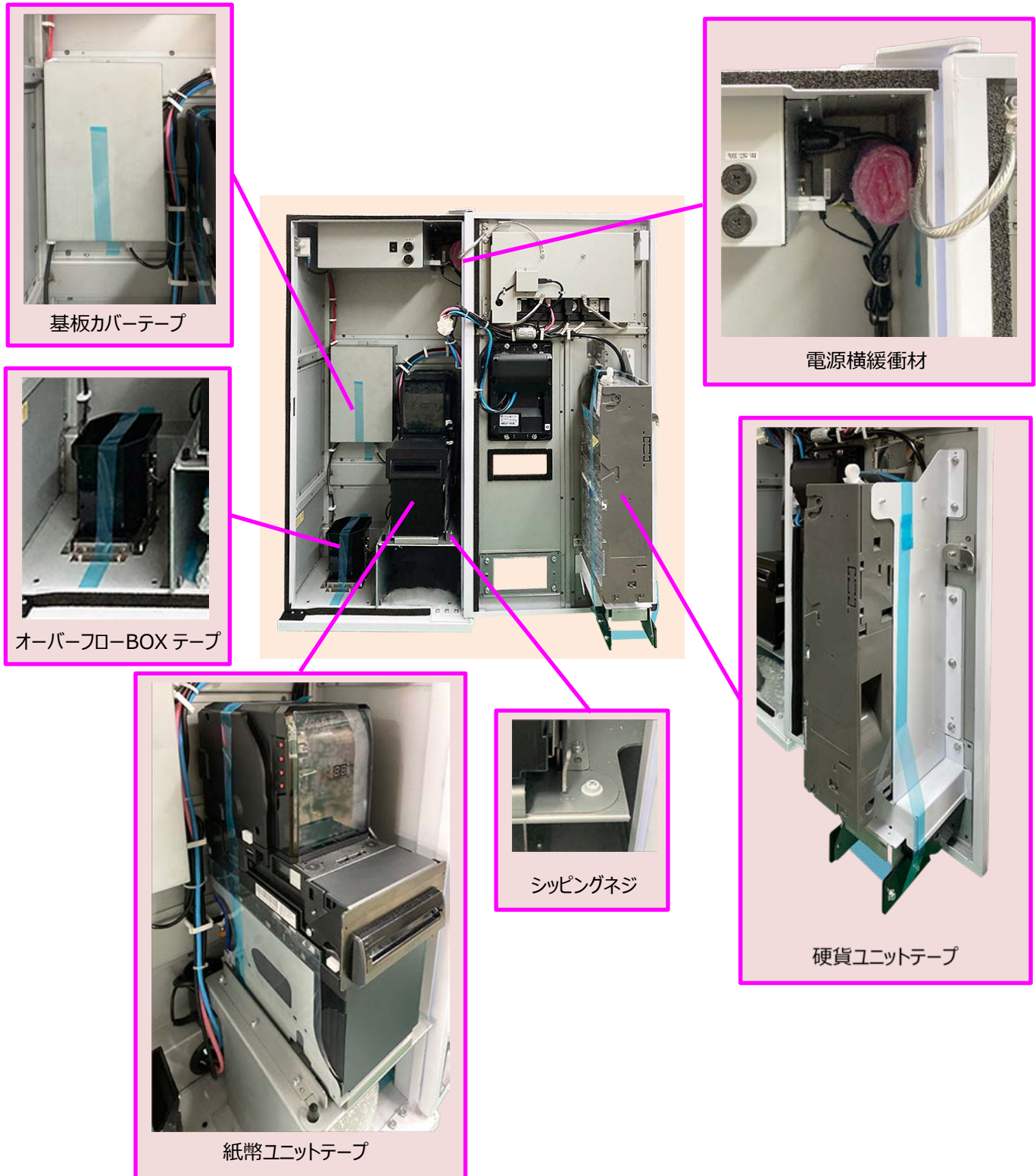
10. シッピングネジ/テープ

10.1. シッピングネジ/テープの取り外し

各ユニットにはシッピングネジおよびテープで固定されています。

ご使用前に、シッピングネジおよびテープをとり外してください。

※ シッピングネジおよびテープを取り外した後、コネクタ類、コンセント類はきちんと接続されているかどうかを確認してください。



11. 推奨スペック

スペック一覧（オプション品）

オプション品	推奨スペック
PC（管理アプリ用）	<ul style="list-style-type: none"> ・OS：Win10、11 IoT 64bit もしくは Win10、11 Pro 64bit ・CPU：管理アプリ PC 専用の場合、Intel Celeron 相当、 他のアプリケーションと併用の場合、Corei3 相当かそれ以上 ・メモリ：4GB 以上 ・ストレージ：SSD ・ストレージ容量：64GB 以上（弊社アプリが必要とする容量） ・LAN ポート 2（USB-LAN 変換でも代用可能）
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・解像度：フル HD（1920×1024）
USB-LAN 変換 （LAN ポート二口タイプ）	<ul style="list-style-type: none"> ・対応 OS：Win10、Win11 ・規格：USB3.0 以降 ・コネクタ：USB Type-A コネクタ オス×1（※USB Type は PC 側に依存します。） RJ-45×2（Auto-Negotiation 対応）
スイッチング HUB	<ul style="list-style-type: none"> ・インタフェース：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T （Auto-Negotiation、AutoMDI/MDI-X 対応） ※リピーターハブ不可
ルーター	<ul style="list-style-type: none"> ・LAN ポート：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ・WAN ポート：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
LAN ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・通信規格：CAT5e 以上
電源タップ	<ul style="list-style-type: none"> ・4 個口以上、3P タイプ

※アプリケーション・ソフトとの相性及び完全な動作を保証するものではありません。事前に十分な確認評価を行っていただきますようお願いいたします。